

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	ライフスタイルの多様化や洋装化等による着物離れの影響を受け、当町の主要産品である丹後ちりめんの生産量は、最盛期の昭和48年に比べ約89%の減となっており、主要産業である織物業の衰退が顕著に現れ、長引く不況もあいまって地域経済も疲弊している現状である。 そのような時勢の中で、長い歴史により培われた織物技術を活かし、和装だけに捉われない新たな商品の開発や、日本の伝統文化の一つである着物の素晴らしさを全国にPRする活動等により織物業の活性化を図るとともに、当町のもう一つの主要産業である農林業、そして豊かな自然を活かした観光や商工業の分野でも振興を図ることで、長引く不況下で疲弊する地域経済の活性化が求められているところである。						
プロジェクトの目的及び概要	これまで培われた農林業、商工業、織物業、観光の基盤をもとに、「伝統を活かし未来にチャレンジする産業づくり」を目指し、各産業の振興を図るとともに、各産業が連携して新たな活路を見出し、活力が循環するまちづくりを進める。						
	総事業費（千円）	286,968	本年度事業費（千円）	27,765	交付金額（千円）	12,869	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	観光施設整備事業	交付対象事業	観光施設の整備。		道の駅、大内峠一字観公園、滝のツバキエリア、野田川森林公園の整備。		
	中小企業振興事業	交付対象事業	中小企業振興による地域経済の活性化。		創業支援、人材育成、新商品開発、雇用促進奨励など48件。		
	織物振興事業	交付対象事業	織物振興対策事業。		着付け教室、織機調整等支援238件。		
	食と健康の拠点施設運営事業	関連事業	食と健康をテーマにした施設の運営。		のべ61,888人。		
	無農薬・有機農業による安全な地域づくり事業	関連事業	完全無農薬による米作りの研究。		完全無農薬による米作りの研究。		
	パイプハウス整備事業	関連事業	農家のパイプハウスを利用した農業実施に係る補助事業。		パイプハウス設置のための補助。		
住民 協働 事業	有害鳥獣捕獲事業	交付対象事業	有害鳥獣の捕獲・処理。		処理：大型獣1,537頭、小型鳥獣155頭。		
	丹後ファッションウィーク開催事業	関連事業	丹後ちりめんの認知度向上を目指し事業展開を行う。		学生による、丹後ちりめん生地を加工した衣装でのファッションショー開催など。		
	自然循環型農業推進事業	交付対象事業	有機肥料による自然循環型農業の推進。		京の豆っこ米の都市部量販店での店頭試食販売など。		
住民が 取り組む 事業	竹林整備事業	関連事業	放置竹林の利活用事業。		ボイラー燃料への試験導入。竹筒ごはんの試作など。		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	農業の担い手の確保・育成 (H23：44人⇒H29：50人)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	H27年度43人		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	高齢化による担い手の自然減少はあるが、はは現状を維持という結果になっている。減少に歯止めをかけるため、関係機関が協力して、担い手に対して多様な育成支援を行うとともに、新規担い手を育成するため、新規就農者フォローアップの取り組みを強化する。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—		(時期)	—

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：与謝野町

成果指標②	成果指標の目標数値	有害鳥獣による農作物被害軽減 (H23: 15ha/年⇒H29: 7.5ha/年)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	H27: 4.9ha/年
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	前年度より1.2%の被害を減少したため。また、H29: 7.5ha/年の目標数値も達成しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	観光客の増 (H23: 662千人⇒H29: 800千人)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	H27年度706千人/年
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	前年度より29千人の入込観光客数が増加したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	観光消費額の増加 (H23: 5億2,208万円⇒H29: 8億円)		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	H27年度6.7億円/年
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	前年度から0.6億円の増加をしているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	-	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	観光分野においては、海の京都関連の取り組み、主要な観光施設の整備などに取り組んだことにより、観光客の数は全体的に増加している。それに伴い、観光消費額も増加している。今後も引き続き観光客増加に向け取り組みを進めていく。 また、農業分野においては、自然循環型農業などの積極的な取組による与謝野町ブランド（「京の豆っこ米」）の知名度の上昇や、有害鳥獣防除施設設置事業による農作物被害軽減効果などにより、農業従事者のやりがいに繋がっている。今後、農業従事者の増加に繋がることを期待する。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	交付対象事業で産業基盤の整備を行い、関連事業で住民や民間事業者と協働して与謝野町のPR事業等を行い、都市部での与謝野町や製品の認知度を高めている。			
	府と市町村等との連携に資する成果	地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。			
	住民の自治意識を高める成果	産業分野は住民生活にも大きく関わる分野であるため、住民自ら積極的に取り組む事業も多く、意識は高い。そういった事業に対して町が様々な支援を行い、住民の取組を活性化している。			
	リーディング・モデル成果	有害鳥獣対策の分野や新たな無農薬栽培農法の研究等、特に農林業分野での新しい取り組みを行い、今ある問題の解決を積極的に行っている。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：与謝野町

広域的波及成果	産業分野は地産地消や循環型経済、自然循環型農業の推進など、地域全体に効果が還元できるような取組を目指している。
行財政改革に資する成果	観光施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。